



～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 13

令和3年 6月14日 発行 袋井市幼児教育センター

調べてみよう

袋井の幼児教育で育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	(1)自立心
		(2)道徳性 規範意識の芽生え
		(3)健康な心と体
		(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	(5)自然との関わり・生命尊重
		(6)言葉による伝え合い
		(7)協同性
思考・表現の基礎となる力	考える、やってみる	(8)思考力の芽生え
		(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
		(10)豊かな感性と表現



子どもの疑問に寄り添う

文字に興味をもちだした5歳児が、友達と手紙のやりとりを楽しんでいます。遊びを繰り返すうち、「どうやって手紙は届くのかな？」という疑問から郵便配達について調べはじめました。

子どもは不思議さに出会うと、それを追求したいという意欲が芽生えます。

保育者は、子どもの疑問に寄り添い、知りたいという意欲を尊重することにしました。

「調べてみよう」に付き添う

郵便について調べる中で、「郵便配達員さんに聞こう」という気付きが生まれました。

保育者は子どもが知りたいという探求心を受け止め、付き添ったことで、手紙を出して届くまでの過程を知り、気付きや得た知識を次の遊びにつなげ、郵便ポストや配達係をつくる遊びに広がりました。



「やってみよう」を支える

届いた手紙を宛先の友達に配る遊びを繰り返す中で、子どもたちは配達係の仕事の大変さを知りました。

やってみて分かることや感じたことを友達と相談し合った結果、個人用のポストをつくって入れるという新たな考えを生み出し、郵便ごっこが発展していきました。

大人は、子どもの「どうして」「なぜだろう」と考えたり「おもしろそう」と感じたりしながら探求していく意欲を支え、自分で考えて行動する力を育てていくことが大切です。



本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。

袋井市教育委員会 幼児教育センター 86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

